

ワークショップ「中央区役所周辺のまちづくり第3弾」 結果について

ワークショップ開催概要

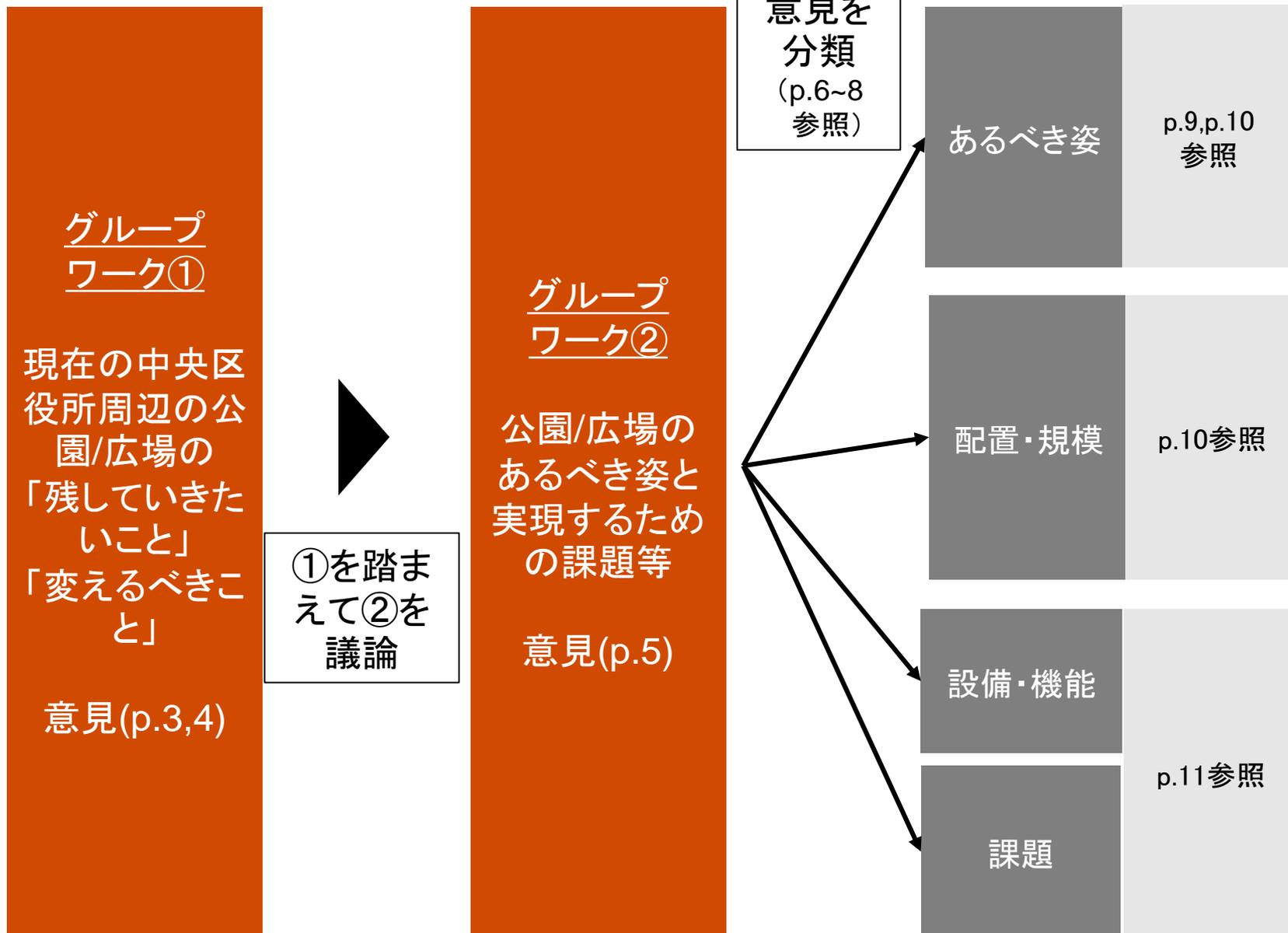
日時	2022年9月3日(土) 13時30分～16時30分
場所	中央区役所3階 大会議室
テーマ	中央区役所周辺地区の公園/広場の利活用を考えよう!
出席者	協議会12名、公募による市民5名、(申込み:協議会12名、公募による市民7名)
目的	中央区役所周辺の公共施設再編方針に基づく基本計画を作成するため、事業敷地における公園や広場などの利活用の考え方について地域住民の方からご意見をいただき、施設整備につなげること

当日のプログラム

1. 中央区役所周辺再編方針の概要紹介
2. アイスブレイク(自己紹介)
3. グループワーク
 - ①現在の中央区役所周辺の公園/広場の「残していきたいこと」「変えるべきこと」について、普段利用している経験を踏まえて意見を出し合いました。
 - ②「再編後の新しい公園/広場はどのような施設であるべきか」について、アイデアを出し合い、実現に向けた課題についても議論を深めました。
4. グループワークで出た意見の全体共有



ワークショップ結果の整理の流れ



グループワーク①：現在の中央区役所周辺の公園/広場の「残していきたいこと」「変えるべきこと」

✓ 各班の結果は以下のとおりです。

グループ	1班	2班	3班
残していきたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトさ(小さい子が遊べるのが魅力) ・広すぎると小さな子はどこかに行ってしまう、目が届く範囲で遊ばせられる公園 ・2～4歳の子供とその親が遊べる遊具 ・西谷公園 ・6歳以下の児童公園 ・保育園の散歩コースとして活用できる場所 ・小さい遊具(小さい子向けの遊具) 	<p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館 ・ホール ・体育館 ・区役所 <p>【子供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が安全に遊べる(利用できる)空間(公園) <p>【川沿い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜 ・緑地 ・犬の散歩道→鴻沼川沿い 	<p>【遊具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一等地にある公園 ・小さい子供用の遊具(西谷公園のブランコの鎖が長いので、振れ幅が大きく孫が大好き) <p>【安心・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しの良さ
変えるべきこと	<p>【西谷公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場にはある部分木陰が必要、それだけの広さが必要 ・車道にすぐに出られないような安全上の工夫(※小さい子向けの公園の場合) ・芝生 ・何かシンボルになるもの <p>【広さとまとまりが足りない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園部分と公共施設を分けた方がいい ・広場というべき広場がない ・大きい子供たちも体を動かせる広場・ボール遊びができる広場 ・更地 <p>【まわりとつながっていない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用の散歩道やベンチがほしい ・環境空間緑道を鴻沼川に沿って広げてほしい。 ・図書館～広場～公園への導線を安全で快適にしてほしい ・与野本町から公園まで楽しんで歩けるような遊歩道がほしい。 ・川沿いでお弁当を買って食べられるようなプチピクニックのできる空間にしたい。 	<p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントができるスペース ・人が集まれるスペース ・オープンスペースの多い図書館 <p>【飲食機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BBQができる環境 ・カフェ、レストラン ・飲食ができる場所 ・フードトラックを採用してほしい <p>【インフラ整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イス・ベンチ・机・テーブルなど休んだり読書ができる施設 ・広場に木を植えて(日陰)ベンチ、テーブルを設置してほしい(新都心のけやき広場参考) ・Wi-Fiや電源 ・コムナーレの横に市民が無料で利用できるスペースを作ってほしい ・雨宿りできる場所 ・トイレなどのUtility ・トイレ+αの施設 	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点にしていきたい <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントごとが少ない ・子供のためだけの公園 <p>【安心・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路をとりたい→人にとって自然な公園に ・夜が暗くて防犯上不安 <p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的がないと行かない場所 ・車を置くスペースが少ない ・歩道橋で公園を結ぶ ・施設機能は5～6階建てくらいの建物にまとめる(今はバラバラで移動が必要) ・他の場所とのつながりが必要

グループワーク①(続)

グループ

1班

- 【水辺の手入れが必要】
- ・水辺の整理が必要
- ・緑道はいらぬ(草がボウボウなので)
- ・川と電車を一緒に見れるような場所に
- 【利便性】
- ・コンビニを増やしたい
- ・レストランやカフェがあるとよい
- 【防災の視点】
- ・緑の空間に防災設備がほしい
- 【どんな人が、どんな場面で使えるとうれしい?】
- ・多様な年齢の人がいることを考えてほしい
- ・時間帯はAMは老人、PMは小中学生
- ・平日の昼間は赤ちゃん連れの親や高齢者が静かに過ごせる
- ・小学生の放課後15:00~18:00に3~10人くらいでバスケ・サッカー・鬼ごっこ(ハーフコートぐらいの広さ)
- ・中高生の休日10:00~17:00に5~20人くらいでサッカーバスケ(フルコートぐらいの広さ)
- ・大学生が昼間11:00~14:00ぐらいの時間帯に散歩するような形で利用したい
- ・休日はファミリーも
- ・休みの日に家族や友人がフラット寄れる/過ごせる(ちょっとお茶するところ)
- ・お昼にお弁当を食べれるところ
- ・川の遊びができるようにしたい(つり・ボート)
- ・お散歩で木陰とベンチが多いところで休める
- ・休めるような丘

変えるべきこと

2班

- 【子供向け】
- ・充実した安全な小さい子供向けの遊具
- 【鉄道の高架下の空間活用】
- ・もっと川をきれいにする
- ・川をきれいにする
- ・散歩できる場所に
- ・犬の散歩道に汚物回収Boxを
- ・川の沿道の散歩道
- ・遊歩道を変える
- ・街灯の整備
- ・川沿いに休める場所
- 【その他】
- ・せっかく法務局があり世界の人が利用するので、与野本町で日本語教室のボランティアなどをして早く日本になじんでもらいたい

3班

- 【せまい】
- ・ゼロベースで作る。広々とした空間、雑木林
- ・広場のイメージ、ボリュームをFixさせてから建物のボリュームを検討するという手法もあり?
- ・建物ではなく環境を中心に考えるべき(大学のキャンパス)
- ・広い公園に遊具・イベントスペースなどを!
- ・現行、計画地内には広場はない
- 【緑・川】
- ・もっと具体的な話が必要。周辺の緑道も検討に含める
- ・小さい子供が遊べる水のある場所
- ・環境空間緑道が計画地の北側で整備されていない→再編に組み込み整備
- 【飲食店】
- ・おしゃれさが足りない
- ・日比谷公園のような公園内に飲食できる店

グループワーク②:中央区役所周辺の公共施設再編後の公園/広場のあるべき姿と実現するための課題

✓ 各班の結果は以下のとおりです。

グループ

1班

テーマ:くつろぎ公園
 ・インクルーシヴ
 ・ユニバーサルデザイン
 ・シンボル
 ・お風呂
【子ども(未就学児・小学生)】
 ・遊具で遊ぶ⇒目が届く広さ(今の西谷公園程度)、道路から離す
【子ども(中学生)】
 ・スポーツなど体を動かす⇒大きさが大事
【大人(大学生・社会人・ファミリー)】
 ・テントを張って休む、昼食を取る、リモートワークやその息抜き⇒くつろげる場所
【お年寄り】
 ・散歩に使う、散歩できる場所、周遊できるとよい、施設とつながっている、川沿いを使う、ベンチ
【地域全体】
 ・区民祭り⇒現状駐車場や中央通りを止めているのでイベント(スタンプラリー等)を開催できるくらいの広さ(今くらいの広さ)があるとよい
【便利なモノ】
 ・キレイな公園用のトイレ
 ・Wi-Fi
 ・コーヒーやフードをテイクアウトできるキッチンカー
【課題】
 ・公園は広く確保したい⇒建物を高くする必要あり
 ・駐車場も必要⇒緑豊かな駐車場に

2班

・オシャレ・落ち着く・長居できる
 ・沢山の緑に囲まれている
 ・人が集まる⇒防犯、見守り、安心につながる場所
 ・多くの地元の方が共感できる
 ・イベント伝承
 ・世代に関係なく集まれる空間
 ・一体感
 ・バラの町中央区らしく
 ・図書館と連携した広場
【オープンスペース】
 ・朝市、直売所
 ・イベントを活かして空間をつくる
 ・世代間を繋ぐ機能や施設
 ・オープンビューイング
 ・大きくとれないかもしれない⇒せめてひとかたまり
 ・しっかりとした地盤(車が入れる)
 ・水はけの良いスペース
【川沿いの空間】
 ・遊歩道
 ・花火が出来る
【設備】
 ・バリアフリー(車いすでも入れる)
 ・透明なゴミ箱・夜も利用できるように照明
 ・飲食 ・トイレ ・ユーティリティ
【公共施設との関係】
 ・他の施設との連携がしやすい広場
【設備】
 ・スケボー禁止が多いが外国のように整備できないか
 ・椅子やテーブルの自由利用は可能か
【持続性】
 ・運営
 ・スタート方法

3班

テーマ:みんなの庭
 ・安心のための照明が必要
 ・防災上の観点からの芝生
 ・水遊びできる噴水等
【コンセプト】
 ・ウォークアブルで交流できる
 ・みどりの中の施設 ・大学のキャンパス
 ・いろいろな機能の建物があってもまとまっている
【気軽さ】
 ・目的がなくてもふらっと立ち寄れる
 ・食べる、遊ぶ、リラックスするにしても公園に行っておくか!となる場所
【いこいの場】
 ・ベンチ、日陰や雨宿り、食事のできる場所
【文化芸術】
 ・イベント利用のためのステージ
 ・巨大スクリーンで週に1回映画や舞台を市民みんなで鑑賞
 ・「芸術のまち」ならではのしかけづくり(踏むと音が鳴るなど…)
 ・キッチンカー、フリマ、屋外シネマ、図書館の本が読めるテラスなど
【まとまり】
 ・広場がまとまっている
 ・建物が高さをおさえつつコンパクト
 ・デッキでつながっている
【分散】
 ・目的に合わせて①広場、②水辺、③施設・遊具(ブランコ・すべり台等)に分ける
 ・年代によって違いがあるので必要な機能に絞った公園を分散
【回遊性】
 ・シェアサイクル ・遊歩道の整備
 ・施設、公園などをつなぐ道を直線ではなくする
【DX】
 ・テレワークのスペース・Wi-Fi強化
 ・トイレやベンチのIOT化

意見

グループワーク② 意見の整理(1班)

✓ 1班の意見を、あるべき姿、配置規模、設備機能、課題に分類した結果は以下のとおりです。

グループ	1班	
テーマ	“くつろぎ公園”	
あるべき姿	<p>【大人(大学生・社会人・ファミリー)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントを張って休む、昼食を取る、リモートワークやその息抜き⇒くつろげる場所 <p>【お年寄り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩に使う、散策できる場所、周遊できるとよい、川沿いを使う 	<p>設備・機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシヴ ・ユニバーサルデザイン ・シンボル ・お風呂 ・ベンチ <p>【便利なモノ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キレイな公園用のトイレ ・Wi-Fi ・コーヒーやフードをテイクアウトできるキッチンカー ・駐車場も必要⇒緑豊かな駐車場に
		<p>配置面の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園は広く確保したい⇒建物を高くする必要あり
	<p>【子ども(未就学児・小学生)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具で遊ぶ⇒目が届く広さ(今の西谷公園程度)、道路から離す 	
	<p>【子ども(中高生)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツなど体を動かす⇒大きさが大事 	<p>運営/機能面の課題</p>
	<p>【地域全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民祭り⇒現状駐車場や中央通りを止めているのでイベント(スタンプラリー等)を開催できるくらいの広さ(今くらいの広さ)があるとよい 	
配置・規模	<p>【お年寄り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設とつながっているとよい <p>【地域全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民祭り⇒現状駐車場や中央通りを止めているのでイベントを開催できるくらいの広さ(今くらいの広さ)があるとよい 	

グループワーク② 意見の整理(2班)

✓ 2班の意見を、あるべき姿、配置規模、設備機能、課題に分類した結果は以下のとおりです。

グループ	2班
コンセプト	“世代に関係なく集まれる空間”

あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・オシャレ・落ち着く・長居できる <p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市、直売所
	<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の緑に囲まれている
	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる⇒防犯、見守り、安心につながる場所
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地元の方が共感できる ・イベント伝承 ・世代に関係なく集まれる空間 ・一体感 ・バラの町中央区らしく <p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを活かして空間をつくる

設備・機能	<p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間を繋ぐ機能や施設 ・オープンビューイング <p>【川沿いの空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火が出来る ・しっかりとした地盤(車が入れる) ・水はけの良いスペース <p>【設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー(車いすでも入れる) ・透明なゴミ箱 ・夜も利用できるような照明 ・飲食 ・トイレ ・ユーティリティ
-------	--

配置面の課題	
--------	--

配置・規模	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と連携した広場 <p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくとれないかもしれない→せめてひとかたまり <p>【公共施設との関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の施設との連携がしやすい広場 <p>【川沿いの空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道
-------	--

運営/機能面の課題	<p>【設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケボー禁止が多いが外国のように整備できないか ・椅子やテーブルの自由利用は可能か <p>【持続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営 ・スタート方法
-----------	---

グループワーク② 意見の整理(3班)

✓ 3班の意見を、あるべき姿、配置規模、設備機能、課題に分類した結果は以下のとおりです。

グループ	3班	
テーマ	“みんなの庭”	
あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本が読めるテラス <p>【コンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーカブルで交流できる ・水遊びできる噴水等 <p>【気軽さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的がなくてもふらっと立ち寄れる ・食べる、遊ぶ、リラックスするにしても公園に行っておくか！となる場所 <p>【いこいの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日陰や雨宿り、食事のできる場所 <p>【文化芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカー、フリマ、屋外シネマ 	<p>設備・機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学のキャンパス <p>【いこいの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチ <p>【回遊性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクル
	<p>【コンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの中の施設 	<p>配置・規模</p> <p>【まとまり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな機能の建物があってもまとまっている ・広場がまとまっている ・建物が高さをおさえつつコンパクト ・デッキでつながっている <p>【分散】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に合わせて①広場、②水辺、③施設・遊具(ブランコ・すべり台等)に分ける ・年代によって違いがあるので必要な機能に絞った公園を分散 <p>【回遊性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備 ・施設、公園などをつなぐ道を直線ではなくする
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心のための照明が必要 ・防災上の観点からの芝生 	<p>配置面の課題</p> <p>運営/機能面の課題</p> <p>【DX】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークのスペース ・トイレやベンチのIoT化 ・Wi-Fi強化
	<p>【文化芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント利用のためのステージ ・巨大スクリーンで週に1回映画や舞台を市民みんなで鑑賞 ・「芸術のまち」ならではのしかけづくり(踏むと音が鳴るなど…) 	

グループワーク②(あるべき姿の考え方の整理について)

✓ あるべき姿に関する意見から、4つの考え方を整理しました。

考え方

グループ	1班	2班	3班
あるべき姿	<p>【大人(大学生・社会人・ファミリー)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントを張って休む、昼食を取る、リモートワークやその息抜き⇒くつろげる場所 <p>【お年寄り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩に使う、散策できる場所、周遊できるとよい、川沿いを使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・オシャレ・落ち着く・長居できる <p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市、直売所 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本が読めるテラス <p>【コンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークアブルで交流できる ・水遊びできる噴水等 <p>【気軽さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的がなくてもふらっと立ち寄れる ・食べる、遊ぶ、リラックスするにしても公園に行っておくか！となる場所 <p>【いこいの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日陰や雨宿り、食事のできる場所 <p>【文化芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカー、フリマ、屋外シネマ
		<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の緑に囲まれている 	<p>【コンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの中の施設
	<p>【子ども(未就学児・小学生)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具で遊ぶ⇒目が届く広さ(今の西谷公園程度)、道路から離す <p>【子ども(中高生)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツなど体を動かす⇒大きさが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる⇒防犯、見守り、安心につながる場所 ・世代に関係なく集まれる空間 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心のための照明が必要 ・防災上の観点からの芝生
	<p>【地域全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民祭り⇒現状駐車場や中央通りを止めているのでイベント(スタンプラリー等)を開催できるくらいの広さ(今くらいの広さ)があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地元の方が共感できる ・イベント伝承 ・一体感 ・バラの町中央区らしく <p>【オープンスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを活かして空間をつくる 	<p>【文化芸術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント利用のためのステージ ・巨大スクリーンで週に1回映画や舞台を市民みんなで鑑賞 ・「芸術のまち」ならではのしかけづくり(踏むと音が鳴るなど…)

いつでも気軽に立ち寄れる憩いの場

みどり豊かな公園/広場

安全でだれでも使いやすい空間

地域とのつながり

ワークショップ結果のまとめ①

✓ グループワーク②の結果から、あるべき姿、配置・規模を以下のとおり整理しました。

○ 新しい広場/公園のあるべき姿(考え方)

あるべき姿
(考え方)

いつでも気軽に
立ち寄れる
憩いの場

みどり豊かな
公園/広場

地域との
つながり

安全でだれでも
使いやすい
空間

○ 広場/公園の配置・規模に関する整理

配置・規模

- ・周囲の施設と連携しやすい配置
(デッキでつなぐ、遊歩道の整備、施設と公園を繋ぐ道を直線ではなくする等)
- ・区民祭り等イベントを開催できるくらい(今くらい)の広さの確保

●公園の配置は、集約する、分散して配置する意見に分かれました。

【集約して配置】

- ・広場をまとめて配置することで、大きな一つのスペースを確保した方がよい

【分散して配置】

- ・使用目的に合わせて①広場、②水辺、③施設・遊具(ブランコ・すべり台等)を分散
- ・年代によって違いがあるので必要な機能に絞った公園を分散

あるべき姿、配置・規模に関する整理は、
基本計画における広場/公園の整備の考えの参考として活用

ワークショップ結果 まとめ②

✓ グループワーク②の結果から、設備・機能、課題を以下のとおり整理しました。

○ 広場/公園に必要な設備・機能の整理

設備・機能

インクルーシブ、ユニバーサルデザイン、シンボル、お風呂、ベンチ、キレイなトイレ、Wi-Fi、(コーヒーやフードをテイクアウトできる)キッチンカー、緑豊かな駐車場、世代間を繋ぐ機能や施設、オープンビューイング、花火が出来る、しっかりとした地盤(車が入れる)、水はけの良いスペース、バリアフリー(車いすでも入れる)、透明なゴミ箱、夜も利用できるように照明、飲食機能、大学のキャンパス、シェアサイクル

○ 課題の整理

配置面の課題

・より広い広場/公園の面積を確保するために、建物のコンパクト化等が必要

運営/機能面の課題

・広場/公園の持続性をもたせるための運営体制づくりが必要
・多様な使い方に対応するための使用ルールの整備が必要
(スケートボードの使用、椅子・テーブルの自由利用 等)
・Wi-Fiの強化等によるDX推進が必要

**設備・機能の整理、あるべき姿の実現に向けた課題については、
基本計画策定以降の具体的な施設整備に向けた
検討の参考として活用**

